



BOSCH



vivatmo
pro

管理說明書

目次

1	管理者の設定	4
2	製品の設定	4
2.1	言語を設定する	5
2.2	日付と時刻を設定する	5
2.3	オートロックを設定する	6
3	品質管理 (QC) の設定	7
4	プリンタの設定	7
5	ネットワークとインターフェース	9
5.1	ハンドヘルドピース	9
5.1.1	ハンドヘルドピースを割り当てる	9
5.1.2	ハンドヘルドピースを取り外す	10
5.2	ネットワークの設定	11
5.2.1	ガイド支援下でのイーサネット接続の設定	12
5.2.2	ガイド支援下での WLAN 接続の準備	13
5.2.3	手動によるイーサネットの設定	14

5.2.4	手動による WLAN の設定	15
5.3	オーダー / 結果送受信インターフェース	16
5.4	エクスポートファイルおよびバックアップファイルの設定	18
5.5	Vivasuite の設定	19
6	ユーザー管理	21
6.1	新規ユーザーを追加	22
6.2	ユーザーアカウントの編集とリセットを実行する	23
6.3	ユーザーアカウントを有効化 / 無効化する	23
6.4	ユーザーアカウントを削除する	24
7	データバックアップ	24

1 管理者の設定

この管理説明書は、Vivatmo Pro 取扱説明書の補足文書です。本書では、設定メニューにあるすべての管理者設定について説明します。



参考情報

管理設定は、管理者としてログインされていなければ有効化されません。

1. 管理者としてログインします。
2. 設定メニューで、**管理**を選択します。

2 製品の設定



3. **管理画面**で、**製品の設定**を選択します。

製品の設定画面が開きます。ここでは言語、日付と時刻、オートロック、工場出荷状態にリセットの各設定を変更できます。工場出荷状態にリセットを選択すると、保存されたデータと設定がすべてリセットされます。

2.1 言語を設定する



1. **製品の設定**画面で、**言語**を選択します。
2. 使用する言語を選択します。

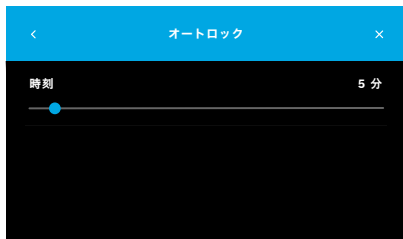
2.2 日付と時刻を設定する

日付を < dd/mm/yyyy > 形式で、時刻を < hh:mm > 形式 (24 時間制) で指定します。



1. **製品の設定**画面で、**日付と時刻**を選択します。
2. 日、月、年、時刻を入力します。
3. **完了**ボタンを押して確定します。
4. **次へ**ボタンを選択して、設定を確定します。

2.3 オートロックを設定する



オートロックを有効にしていると、節電と患者データの保護のためにシステムが自動的にシャットダウンします。オートロック解除後は、再度ログインする必要があります。

この間隔は、臨床環境のニーズに合わせて設定できます。

1. **製品の設定**画面で、**オートロック**を選択します。
2. 青色のポイントを押したまま、希望のオートロック時間まで動かします。

工場出荷状態にリセット

工場出荷状態にリセットすると、保存されていた測定値がすべてベースステーションから削除されるとともに、患者とユーザーの全データが削除されます。日付と時刻はリセットされ、リセット後はハンドヘルドピースがまったく接続されていない状態となります。

参考情報

工場出荷状態にリセットするのは、廃棄時またはサービスのための返却時のみとしてください。

3 品質管理 (QC) の設定

Vivatmo pro ハンドヘルドピースの測定値の管理には、一酸化窒素 (NO) の標準濃度と比較する外部の QC テストが利用されます。

品質管理設定にアクセスできるのは管理者のみです。QC 設定の項目は QC ステータス、測定間隔、測定回数です。

詳細は、本製品取扱説明書の「6.2 品質管理 (QC)」を参照してください。

4 プリンタの設定

1. **管理画面で、プリンタの設定**を選択します。
プリンター一覧画面が開きます。ハイライト表示されているのが、標準プリンタです。
2. **別のプリンタを追加**を選択します。
3. 使用するプリンタインターフェースを選択します：
 - USB
 - ネットワーク
 - 共有**右矢印**を選択して、**プリンタを選択画面**に移動します。





参考情報

印刷対象データは、暗号化されずに送信されます。

4. **プリンタを選択**画面で、使用するプリンタを選択します。
5. **右矢印**を選択して、**プリンタドライバを選択**画面に移動します。
6. **プリンタドライバ**を選択します。
プリンタの設定画面が表示されます。
7. **保存**を押して確定し、プリンタの設定を保存します。
プリンタの一覧が現れます。

プリンター一覧のコマンド:

1. 標準プリンタを選択するには、1つのプリンタにチェックマークを入れます。
2. 一覧からプリンタを削除するには、**削除**ボタンを押します。
3. 一覧を閉じるには **x** ボタンを押します。

5 ネットワークとインターフェース

5.1 ハンドヘルドピース

5.1.1 ハンドヘルドピースを割り当てる



1. 管理画面で、**ネットワーク/インターフェース**を選択します。
2. **ネットワーク/インターフェース**画面で、**ハンドヘルドピースを割り当てる**を選択します。
3. ハンドヘルドピースのスイッチを入れます。
4. **ハンドヘルドピースのスキャン実行**を選択します。
5. スキャン処理が終わるまで待ちます。
アクティブなハンドヘルドピースの一覧が現れます。
アクティブなハンドヘルドピースがない場合は、次のメッセージが表示されます: 「利用できるハンドヘルドピースがありません」
6. 一覧にある *Vivatmo pro* ハンドヘルドピースの番号と、ハンドヘルドピースのハンドルに付いている記号 **SN** の下の製造番号を照合します。
7. お使いの *Vivatmo pro* ベースステーションと組み合わせる *Vivatmo pro* ハンドヘルドピースを一覧から選択します。
8. 製品の設定画面が開きます。ハンドヘルドピースとベースステーションは自動的に接続されます。

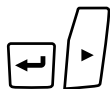
これで、*Vivatmo pro* ハンドヘルドピースと *Vivatmo pro* ベースステーションに同じ日付と時刻が表示されるようになります。

参考情報

QC が有効化されている場合は、新しいハンドヘルドピースの割り当て後に QC 測定を実行してください。ベースステーションのソフトウェアによって、ハンドヘルドピースの QC ステータスが各測定値とともに保存されます。

5.1.2 ハンドヘルドピースを取り外す

別のハンドヘルドピースが使われていた場合は、**ハンドヘルドピースを取り外す**ボタンを押すと接続が解除されます。古いハンドヘルドピースを廃棄するときは、メモリを消去して、電池を取り出してください。



1. **実行**ボタンと **右矢印**ボタンを 3 秒間長押しします。

メモリ消去アイコンが選択されます。

2. **矢印**ボタンでチェックマークが付きます。

3. **実行**ボタンを押して、メモリ消去を確定します。

動画が表示され、同時に**メモリ消去**アイコンが点滅します。

4. **実行**ボタンを押して、メイン画面に戻ります。

5. ハンドヘルドピースのスイッチを切ります。

5.2 ネットワークの設定

Vivatmo pro はローカルエリアネットワークに接続できます。接続すると、測定オーダーの受信、測定結果の返信、患者関連測定データのエクスポート、ネットワークプリンタの使用が可能となります。Vivatmo pro は、イーサネットと、WLAN によるワイヤレス接続に対応しています。

参考情報

Vivatmo pro はセキュリティ保護されていないネットワークでは使用しないでください。
データは、暗号化されずに送信されます。

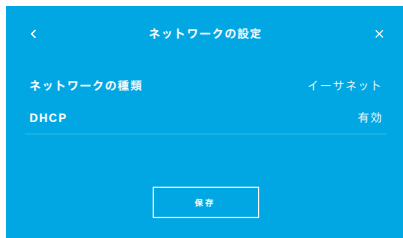
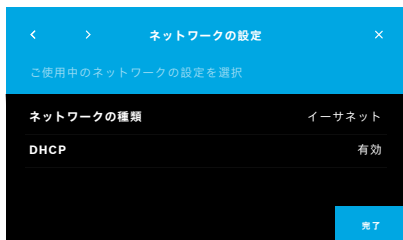


1. **ネットワーク / インターフェース**画面で、**ネットワーク**を選択します。
2. ネットワークアクセスが既に設定されていれば、**ネットワーク設定を表示**を選択します。

以下の**ネットワークの詳細**が表示されます:

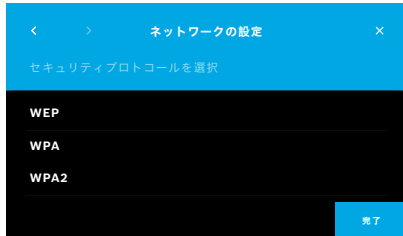
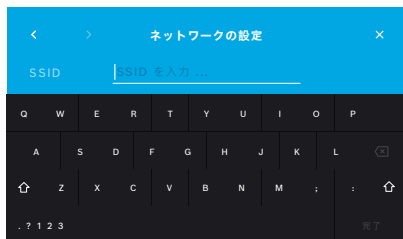
- **ネットワークの種類**: WLAN またはイーサネット
- **DHCP**: **D**ynamic **H**ost **C**onfiguration **P**rotocol
DHCP が有効であれば、ネットワークの設定に対応しています。
- **SSID**: **S**ervice **S**et **I**dentifier
WLAN ネットワークの名称です。
- **セキュリティプロトコール**: お使いのシステムに使用されているセキュリティプロトコールです。
- **パスワード**: ネットワークパスワードです。

5.2.1 ガイド支援下でのイーサネット接続の設定



1. *Vivatmo pro* ベースステーションの背面にあるイーサネット用ポートにイーサネットケーブルを差し込みます。
2. **ネットワーク**画面で、**ネットワークを設定**を選択します。
3. ドロップダウンメニューで、ネットワークの種類に **イーサネット**を選択します。
4. **DHCP** を有効化します。
5. **保存**ボタンを押して確定します。

5.2.2 ガイド支援下での WLAN 接続の準備



1. ネットワーク画面で、**ネットワークを設定**を選択します。
2. ネットワークの種類に **WLAN** を選択します。
3. **DHCP** を有効化します。
4. **ネットワーク SSID を設定**する画面で、WLAN 名を入力します。
5. **右矢印**または**完了**ボタンを押して、画面から移動します。
6. お使いの WLAN で有効化されているセキュリティプロトコルを選択します。
7. **右矢印**ボタンを選択して、画面から移動します。
8. 次の画面で、お使いの WLAN の WLAN パスワードを入力します。
9. **右矢印**ボタンを選択するか、**完了**ボタンで確定して、画面から移動します。
10. **保存**ボタンを押して確定します。

5.2.3 手動によるイーサネットの設定



1. ベースステーションのイーサネット用ポートにイーサネットケーブルを差し込みます。
2. **ネットワーク**画面で、**ネットワークを設定**を選択します。
3. **ネットワークの種類**に**イーサネット**を選択します。
4. **DHCP** を無効化します。
5. お使いのネットワークの **IP アドレス**と、お使いのネットワークのサブネットマスクを入力します。
6. **ゲートウェイ ID** を入力します。
7. **右矢印**ボタンを選択するか、**完了**ボタンで確定して、画面から移動します。



8. **保存**ボタンを押して確定します。

5.2.4 手動による WLAN の設定

1. **ネットワーク**画面で、**ネットワークを設定**を選択します。**ネットワークの設定**画面が開きます。
2. ネットワークの種類に **WLAN** を選択します。
3. **DHCP** を無効化します。
4. 「5.2.2 ガイド支援下での WLAN 接続の準備」の手順 4 から 8 を実行します。
5. 「5.2.3 手動によるイーサネットの設定」の手順 5 から 8 を実行します。
設定が正常に終了すると、**ネットワークの設定**画面が現れます。
6. **保存**ボタンを押して確定します。

5.3 オーダー / 結果送受信インターフェース

ネットワークが設定されていれば、Vivatmo pro によって電子患者レコードシステム (EPR) から測定オーダーを受信したり、EPR に結果を送信したりできます。インターフェース規格 GDT (ドイツデータ転送規格) と HL7 に対応しています。

お使いの患者管理システムへのインターフェースを構成するには、以下の手順に従ってください。



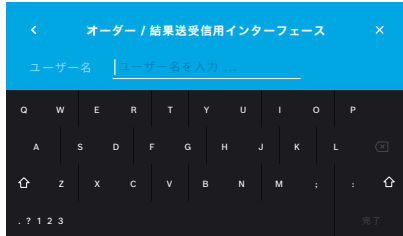
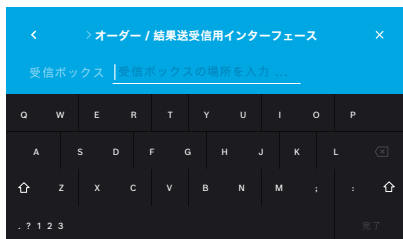
1. 管理画面で、**ネットワーク / インターフェース**を選択します。
2. **ネットワーク / インターフェース**画面で、**オーダー / 結果送受信インターフェース**を選択します。

次のいずれかを選択できます：

- **インターフェースを設定**で、設定を変更。
- **インターフェースの設定を表示**で、現在の設定を表示。

インターフェースを設定を選択して、設定を変更します。

3. **オーダー / 結果送受信インターフェース**を「アクティブ」にします。これが無効のままであると、現在のインターフェースの設定が維持されます。
4. **右矢印**ボタンを選択して、次の画面に移動します。使用するプロトコールを選択します：**HL7** または **GDT**
5. **オーダー / 結果送受信インターフェース**のアクセスがユーザー名とパスワードの組み合わせで制御されている場合は、資格情報には**はい**を選択します。



6. 所属する医療機関の IT 規定に従い、受信する測定オーダー用の受信ボックスの場所を指定します。

7. 送信ボックスの場所も同じ手順で指定します。

8. **完了**ボタンを押して確定します。

資格情報が要求された場合は、手順 9 から 13 を実行します。

9. EPR システムからデータにアクセスするのに必要なユーザー名を入力します。

10. **完了**で確定して、次の画面に移動します。

11. EPR システムからデータにアクセスするのに必要なパスワードを入力します。

12. **完了**ボタンを押して確定します。

オーダー / 結果送受信インターフェースの設定が、通信テストの結果とともに表示されます。

13. データをチェックして、間違いがなければ**保存**ボタンを押して確定します。

ホーム画面にオーダーボタンが表示されます。本製品の取扱説明書「2.1 画面各部」を参照してください。

受信ボックスと送信ボックスを削除すると、ホーム画面からオーダーボタンが消えます。

5.4 エクスポートファイルおよびバックアップファイルの設定

ストレージロケーション (格納先) を指定しておけば、患者レコードからデータをエクスポートできますし (本製品の取扱説明書「5.1 患者レコード」を参照)、測定値と患者データのすべてをバックアップすることもできます (「7 データバックアップ」参照)。ストレージロケーションはできれば USB ドライブかネットワークドライブにしてください。患者のエクスポートファイルは、時刻スタンプと患者名で識別できます。エクスポートデータは暗号化されずに送信されます。バックアップファイルは暗号化されて格納されます。インポート先は同じベースステーションのみです。

設定は以下のコンフィギュレーションウィザードに従ってください。



1. **管理画面で、ネットワーク / インターフェース**を選択します。
2. **ネットワーク / インターフェース画面で、エクスポート / バックアップ先**を選択します。
3. **エクスポートファイル / バックアップファイルを設定**を選択して、設定を変更します。
4. 所属する医療機関の IT 規定に従い、エクスポートファイルとバックアップファイルの格納先を、USB ドライブまたはネットワークドライブに指定します。ロケーションパスの末尾は必ず記号「/」とします。



5. エクスポートフォーマットとして **CSV** または **PDF** のいずれかを選択します。

エクスポート / バックアップ先の設定が表示されます。

6. データをチェックして、間違いがなければ**保存**ボタンを押して確定します。

5.5 Vivasuite の設定

Vivasuite は、デバイスの管理やソフトウェアのリモート更新などのサービスを利用できるようにする Vivatmo 用デジタルエコシステムです。Vivasuite は Bosch IoT クラウドで動作するため、最高水準の IT セキュリティとデータプライバシーが適用されます。

Vivasuite への登録と、お使いの本製品のペアリングが必要です。本製品は必ずインターネット対応ネットワークに接続してください。

Vivatmo pro を Vivasuite に接続するには、以下の手順を実行してください。



1. Vivasuite: www.vivasuite.com でアカウントを登録し、ご自身のアカウントにログインします。
2. Vivatmo pro: 管理画面で、**ネットワーク / インターフェース**を選択します。**ネットワーク / インターフェース**画面で、**Vivasuite の設定**を選択します。
3. Vivatmo pro: イントロダクション画面をクリックスルーして、ネットワーク接続を設定します (詳細は「5.2 ネットワークの設定」を参照)。画面にペアリングコードが表示されます。



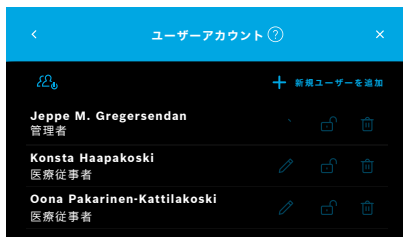
4. *Vivasuite*: **デバイスを追加**をクリックします。
5. *Vivasuite*: *Vivatmo pro* に表示されるペアリングコードを入力します。
6. *Vivatmo pro*: 確定画面が現れます。


Vivasuite から *Vivatmo pro* の接続を解除するには、以下の手順を実行します。

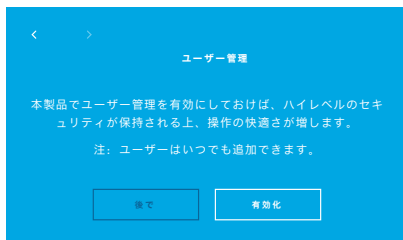


1. *Vivatmo pro*: **ネットワーク / インターフェース**画面で、***Vivasuite* の設定**を選択します。
2. *Vivatmo pro*: **接続解除**を選択します。確定画面が現れて、確定すると接続が解除されます。

6 ユーザー管理



1. 管理画面で、**ユーザー管理**を選択します。
ユーザーアカウントによるアクセス制御は、 ボタンで無効にできます。



ユーザー管理が設定処理で有効化されていない場合は、**ユーザーアカウント**画面が開いて、ユーザーアカウント別に**有効化**できます。

参考情報

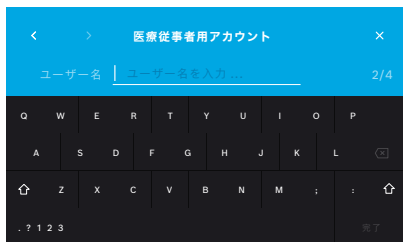
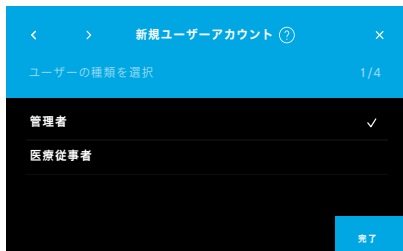
ユーザー管理を無効化しておけば、後で使用するときのために、ユーザー設定をそのままにしておけます。本製品の取扱説明書「3.2.1 ユーザーコンセプト」も参照してください。

参考情報

本システムでは、少なくとも1名の管理者がログインする必要があります。管理者のパスワードを忘れたときは、サービス技師が *Vivatmo Pro* をリセットする必要があります。

6.1 新規ユーザーを追加

新規のユーザーを追加するには、以下のコンフィギュレーションウィザードに従ってください。



1. **ユーザーアカウント**画面で、**+ 新規ユーザーを追加**ボタンを押します。
2. 希望の**ユーザーの種類**を選択します。本製品の取扱説明書「3.2.1 ユーザーコンセプト」を参照してください。
 - 管理者
 - 医療従事者
3. **ユーザー名**を入力します。



4. 対応する**パスコード**を入力します。
 - 医療従事者のパスコードは 4 桁
 - 管理者アカウントのパスコードは 8 桁
5. パスコードを再入力します。
6. **完了**ボタンを押して確定します。
これでユーザーが追加されます

6.2 ユーザーアカウントの編集とリセットを実行する



1. **ユーザーアカウント**画面で、編集したいユーザーを選択します。
2. **鉛筆**ボタンを押します。
3. ユーザー名とパスコードへの変更を入力します。
4. **完了**ボタンを押して確定します。

6.3 ユーザーアカウントを有効化 / 無効化する



1. **ユーザーアカウント**画面で、有効化 / 無効化したいユーザーを選択します。
2. **ユーザーを有効化 / 無効化** ボタンを押します。
ロック記号が開けば、そのユーザーアカウントは有効化されています。

6.4 ユーザーアカウントを削除する

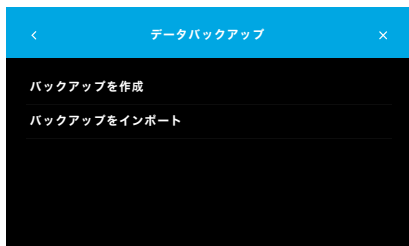


1. **ユーザーアカウント**画面で、削除したいユーザーを選択します。
2. **削除**ボタンを押します。

これでこのアカウントは削除されました。

7 データバックアップ

データバックアップを実行すると、測定値と患者データのすべてが、指定のストレージロケーションに暗号化されて格納されます。「5.4 エクスポートファイルおよびバックアップファイルの設定」を参照してください。暗号化の仕組みに起因して、バックアップデータのインポート先は同じベースステーションのみです。バックアップをインポートすると、ベースステーションに保存されているデータが上書きされます。



1. 管理画面で、データバックアップを選択します。
2. 次のいずれかを選択します。

- **バックアップを作成**
- **バックアップをインポート**

バックアップ処理は通常 5 分以内に終了します。



เครื่องวิทยุคมนาคมนี้ ได้รับยกเว้น ไม่ต้องได้รับ
ใบอนุญาตให้มี ใช้ซึ่งเครื่องวิทยุคมนาคม
หรือตั้งสถานีวิทยุคมนาคมตามประกาศ กสทช.
เรื่อง เครื่องวิทยุคมนาคม และสถานีวิทยุ
คมนาคมที่ได้รับยกเว้นไม่ต้องได้รับใบอนุญาต
วิทยุคมนาคม ตามพระราชบัญญัติวิทยุ
คมนาคม พ.ศ. 2498



namb. | โทรคมนาคม
กำกับดูแลเพื่อประชาชน
Call Center 1200 (InoWi)

OMAN - TRA
TA-R/10512/20
D172338

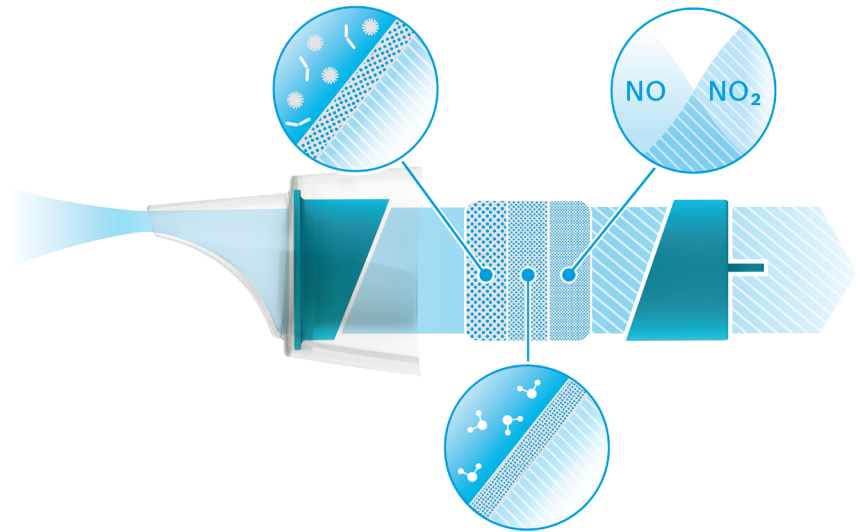
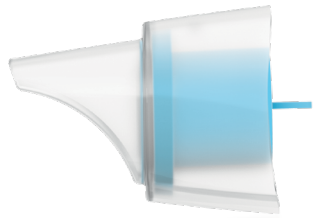
TRA
REGISTERED No.
ER92285/20
DEALER No.
DA97534/20

Complies with
IDMA standards
DA105282

72413/SPDDI/2021
10325

72412/SPDDI/2021
10325

Oxycap マウスピース



BOSCH

Bosch Healthcare Solutions GmbH
Stuttgarter Straße 130
71332 Waiblingen
Germany



F09G100558_01_ja
管理説明書
最終改訂日:
2021-06-18



Bosch Healthcare Solutions GmbH
Stuttgarter Straße 130
71332 Waiblingen, Germany